

新潟リハビリテーション大学の教育と卒業生についてのアンケート 2025

1. 貴施設名・貴社名を入力してください。

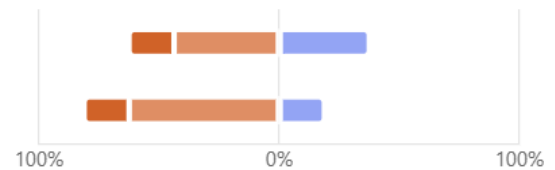
回答：16 施設 （送付：31 施設）

2. ①物事に進んで取り組むことができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

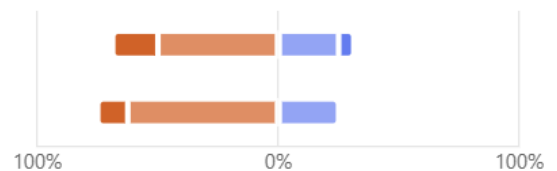


3. ②他人に働きかけ、協力を得ることができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

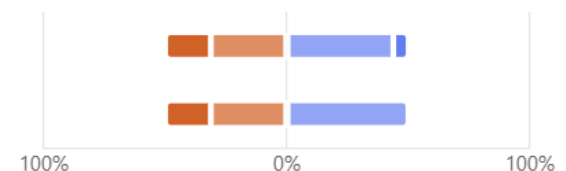


4. ③目的を設定し確実に行動することができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

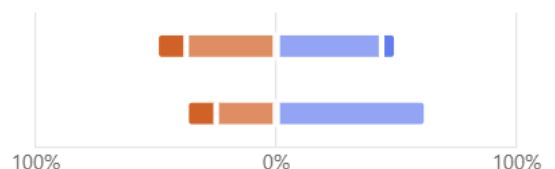


5. ④現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

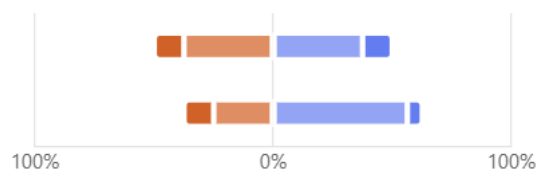


6. ⑤課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備することができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

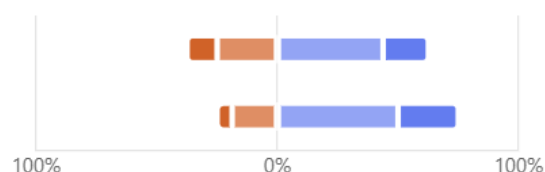


7. ⑥新しい価値を生み出すことができる（創造力がある）

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

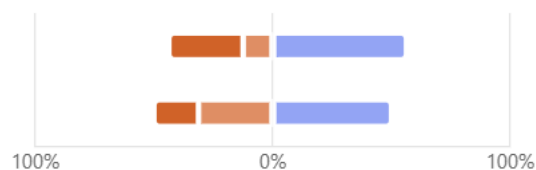


8. ⑦自分の意見をわかりやすく伝えることができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

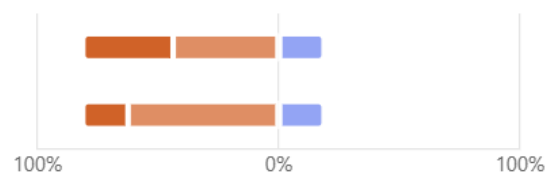


9. ⑧相手の意見を丁寧に聴くことができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

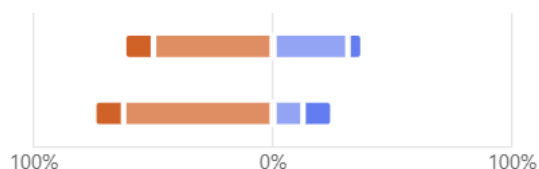


10. ⑨意見の違いや立場の違いを理解することができる（柔軟性がある）

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

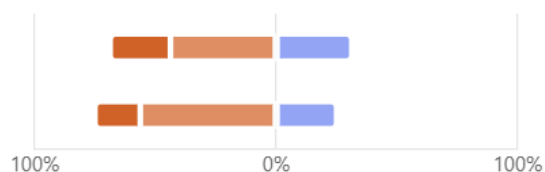


11. ⑩自分と周囲の人々や物事との関係性を理解することができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

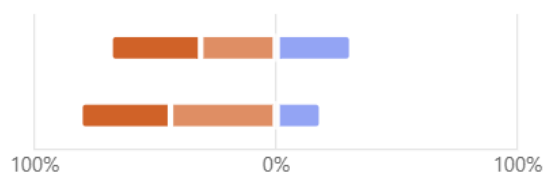


12. ⑪社会のルールや人との約束を守ることができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

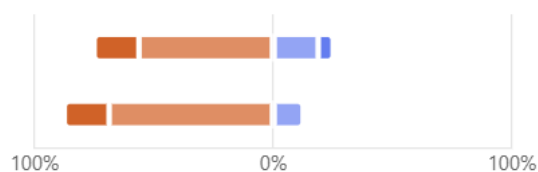


13. ⑫ストレスの発生源に対応することができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

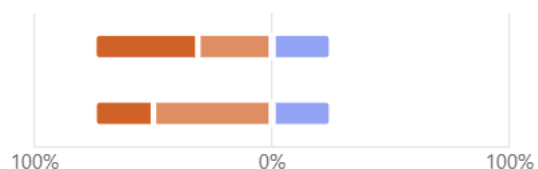


14. ⑬身だしなみ、言葉遣い、挨拶、態度が身についている

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

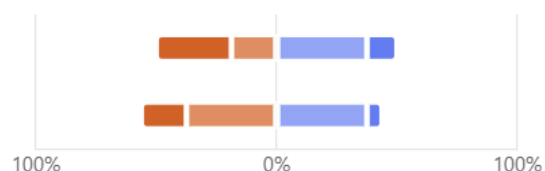


15. ⑭進んで報告・連絡・相談し、情報を他者と共有することができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

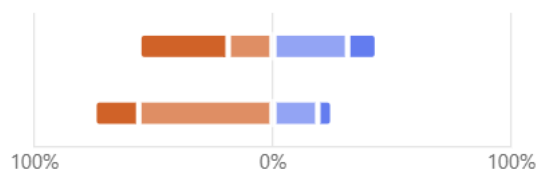


16. ⑮常に新しい知識・能力を身につけようとする力がある

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

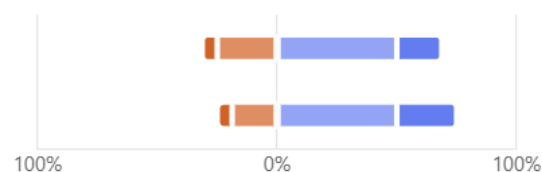


17. ⑯リーダーシップを発揮することができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

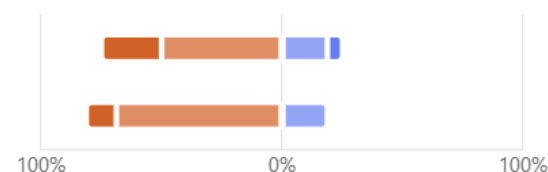


18. ⑰チームの和を大切にし、他者との連携ができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

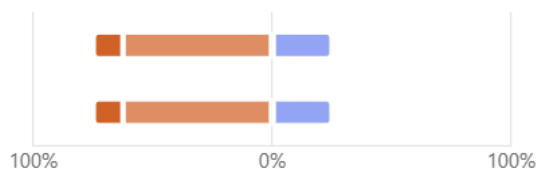


19. ⑱パソコンなど情報通信技術（ICT）を活用することができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

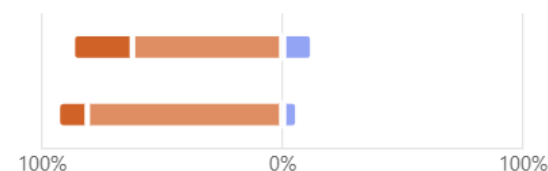


20. ⑲貴施設・貴社に貢献しようと努力することができる

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

新卒者全体の印象

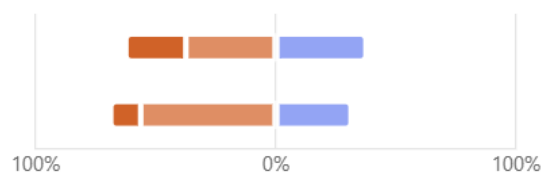


21. ⑳実際に貴施設・貴社に貢献できている

● 満足 ● おおむね満足 ● やや不十分 ● 不十分

新潟リハビリテーション大学卒業生の印象

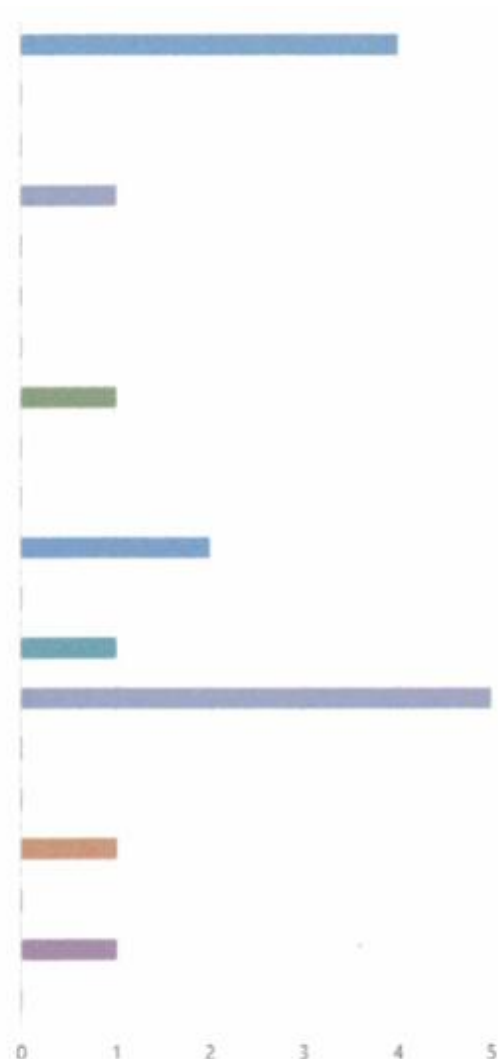
新卒者全体の印象



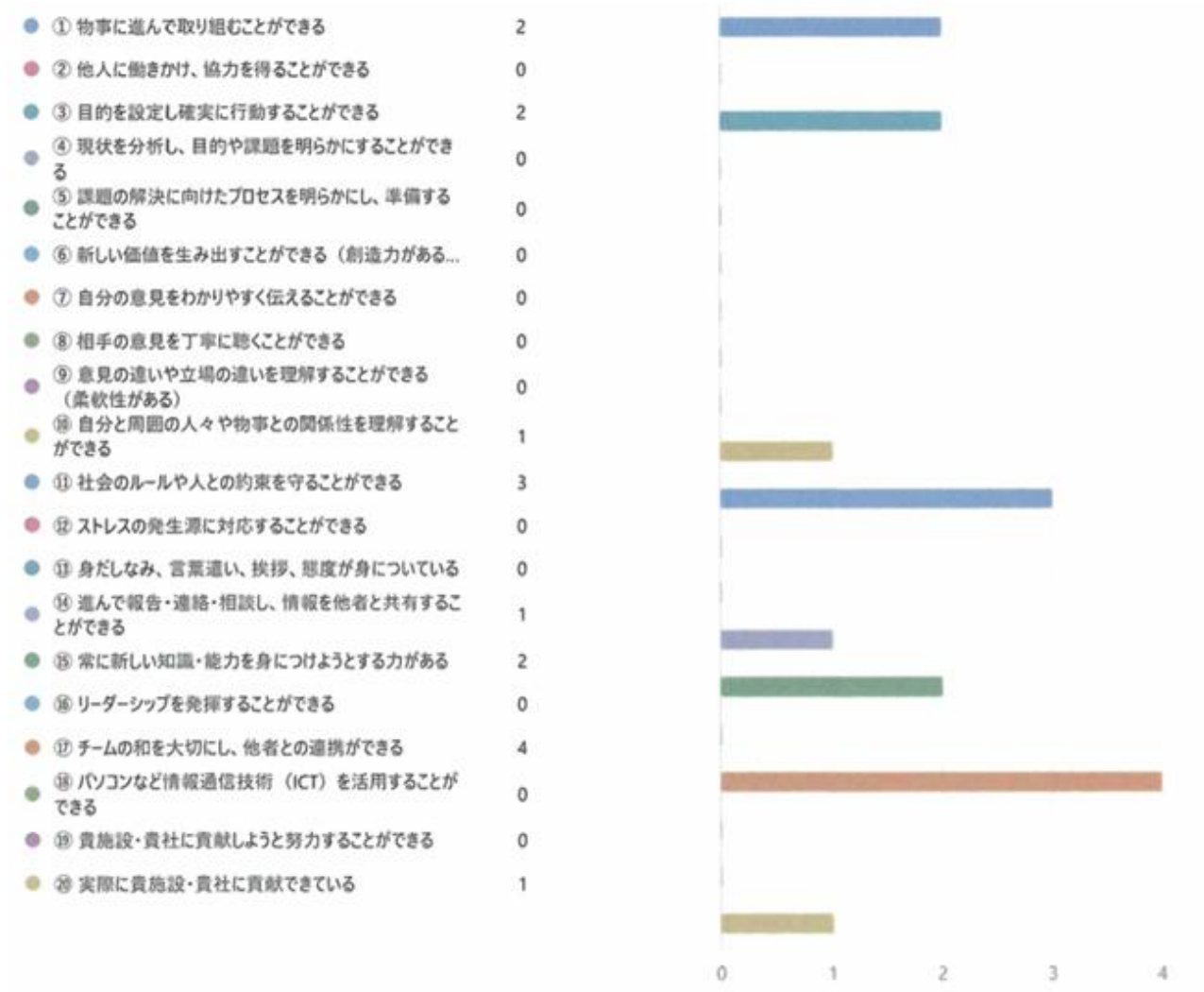
22. 上記の①～⑳項目の中で、貴施設・貴社が新卒者に求めることとして重要度の高い順に1～3位までお答えください。

【1位】

- | | |
|----------------------------------|---|
| ① 物事に進んで取り組むことができる | 4 |
| ② 他人に働きかけ、協力を得ることができる | 0 |
| ③ 目的を設定し確実に行動することができる | 0 |
| ④ 現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる | 1 |
| ⑤ 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備することができる | 0 |
| ⑥ 新しい価値を生み出すことができる（創造力がある...） | 0 |
| ⑦ 自分の意見をわかりやすく伝えることができる | 0 |
| ⑧ 相手の意見を丁寧に聴くことができる | 1 |
| ⑨ 意見の違いや立場の違いを理解することができる（柔軟性がある） | 0 |
| ⑩ 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解することができる | 0 |
| ⑪ 社会のルールや人との約束を守ることができる | 2 |
| ⑫ ストレスの発生源に対応することができる | 0 |
| ⑬ 身だしなみ、言葉遣い、挨拶、態度が身についている | 1 |
| ⑭ 進んで報告・連絡・相談し、情報を他者と共有することができる | 5 |
| ⑮ 常に新しい知識・能力を身につけようとする力がある | 0 |
| ⑯ リーダーシップを発揮することができる | 0 |
| ⑰ チームの和を大切にし、他者との連携ができる | 1 |
| ⑱ パソコンなど情報通信技術（ICT）を活用することができる | 0 |
| ⑲ 貴施設・貴社に貢献しようと努力することができる | 1 |
| ⑳ 実際に貴施設・貴社に貢献できている | 0 |



【2 位】

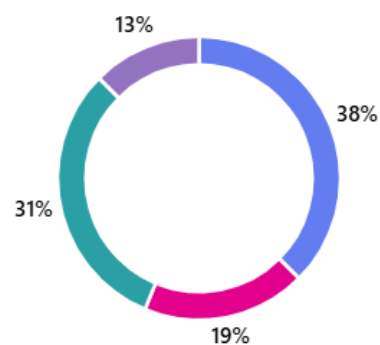


【3位】



23. 貴施設・貴社では総合的に判断して新潟リハビリテーション大学卒業生の採用に満足していますか。

- 満足 6
- やや満足 3
- 普通 5
- やや不満 2
- 不満 0



24. 本学学生についてお求めになることやお感じになることなど大学への要望をご自由にお書きください。

- 一名に関しての評価にはなりますが、非常に優秀で協調性も高く、当院を選んで頂けて嬉しく思っています。
- 積極性のある人材を求めています
- 建設業という学校で学んだ専門分野とは違うフィールドにおいても、人との接し方や身だしなみ、言葉遣いが身についているところは、協調性が重要な組織の中でとても有効だと感じます。今回、貴校生徒様が建設業の道を選択してくださったことは、レアなケースだと思いますが、好事例となるようエンゲージメントの向上に努めていきたいと思えます。"
- 明るい雰囲気の評判がよく、新しいことにも進んで取り組む姿勢に好感を持っております。
- 新卒者1年の今の時期の質問としてはレベルが高い内容となっており、評価が厳しくなりました。しかし、新リハ大の卒業生は、素直だが大人しく自らの発言が少なく、学習に関しても消極的な印象を持っています。
- 報連相など、不十分な部分もありますが、総合的に考えると日々の業務やリハビリに一生懸命取り組む姿勢が見られ、頑張っています。
- コミュニケーション力や協調性があり、社会人として適切な行動が取れる良い人材がいらっしゃると思います。国家試験の不合格により、採用取り消しが過去に数件あったため、採用時の可否に影響を与えることがあります。
- 目的意識が高く、柔軟な対応ができるかたが多く、毎年卒業生に期待できます。
- 何事におきまして、向上心を持ちつつ物事に取り組む姿勢が身につくと良いと感じております。
- アンケートについてですが、貴校卒業生(当院は中途採用)・新卒採用者間ではそれぞれの経験年数を考慮しても、少なくない差を感じております。また、新卒採用者全体の印象は設問通りですが、新卒採用者各個人を見るとその差も大きいと感じております。学生の年代・世代も関連があるとは思いますが、卒後の経験が大きく関与しているものと感じております。しかしながら、例えば報告・連絡・相談のように、1件の欠如・不足でも場合によっては患者さんの健康状態が大きく左右されることもあり、社会性の基盤は業種上「社会に出てから身につける」では遅く、在学中に身につけることが望ましいと考えております。先生方も学生の在学中に「この学生は(～の面で)大丈夫だろうか」と思われることもあるのではないのでしょうか。実習と同様、社会性にもシームレスな人材育成手法(養成校様と就職先との連携)が必要なのだと感じております。例えばですが、採用内定時点または卒業時点で学生の(悪い意味での)個性や、その個性を修正するコツまたは活かし方、修正を試みたがこの方法では上手くいかなかった、等の卒後教育へのバトンタッチをしていただけたら幸いです。養成校様方も私たちも少子化は共通した悩みかと考えています。様々な個性があっても、「どう一人前にしていくか」を共通認識として日々従事していけたら、と思えます。